

# 12人の議員が市政を問う 一般質問

- 1 中川 文久 移住・定住の取り組みとTSMCへのアプローチは …P14
- 2 菊池 勝秀 期待される「TSMC」進出への対応策を急ぐべきでは …P15
- 3 市原 正 「ふるさと納税」今後の取り組みは …P15
- 4 五嶋 義行 合併協定書にうたわれた文化ホールの建設は …P16
- 5 園田 浩文 大切な子ども達の明るい未来を守るためには …P16
- 6 児玉 正孝 移住定住に向けた取り組みは …P17
- 7 佐藤 和宏 「イコカー」実証実験期間の延長は …P17
- 8 竹原真理子 阿蘇市の子育て支援環境の充実を …P18
- 9 大倉 幸也 有害鳥獣の被害状況は …P18
- 10 杉谷 保信 新型コロナウイルスの位置付け変更による影響は …P19
- 11 佐藤 菊男 波野グラウンドのトイレや管理棟の改修は …P19
- 12 竹原 祐一 学校給食の無償化と就学援助金の拡充を …P20

## 移住・定住の取り組みとTSMCへのアプローチは



中川 文久

**中川** 移住・定住に向けた今後の取り組みは。

**石松まちづくり課長** 空き家バンクの充実を図るほか、新たに移住・定住パンフレットを作成中です。TSMCの進出を見据えて、日本語・英語・台湾語のパンフレットの整備を進めています。

**中川** TSMCに関する移住対策は今は大事だと思いが、アプローチの方法は。

**まちづくり課長** 工場付近では住宅地の整備が進んでおり、関係する台湾の方の一部は、すでに家族で熊本に居住されていると聞いています。県内の不動産事業者からの情報では、工場周辺での宅地開発が優先されているようです。市としては、空き家バンクの多言語化を図るなど積極的なアプローチに努めます。

### 持続可能な野焼きについて

**中川** 野焼き専門の損害保険が三井住友海上火災保険より創設され安心しているが、各牧野への保険内容

等の説明は十分に行っているか。

**佐伯農政課長** 1月末に開催した原野火入れ会議で各牧野組合長に対して説明を行なっています。また、補償内容等の要約版を作成し周知を図る予定です。

**中川** 保険期間が1年間となっているが、どのような時に保険が適用されるのか。また、適用外はあるのか。

**農政課長** 野焼き作業時だけでなく、輪地切り・輪地焼き等の作業時に法的な賠償責任が生じる場合にも適用されます。また、第三者所有ではない市有林、公団造林等への被害は補償対象外となっています。



建設が進む菊陽町の「TSMC」

# 期待される「TSMC」進出への対応策を急ぐべきでは



菊池 勝秀

**菊池** 菊陽町進出のTSMCが2024年に稼働予定であり、関連企業を含め、働く社員と家族等の人口は相当な数になると思われる。市が期待している効果は。

**廣瀬企画財政課長** 台湾などインバウンドを含めた観光交流人口の拡大、移住・定住の促進、企業進出による雇用の場創出などを想定しています。

**菊池** 近隣自治体で新たな工業団地エリアの発表や事業所の新設・増設に伴う用地取得費の助成など、すでに関連企業の誘致の取り組みが行われている。観光中心から企業誘致などへの思い切った政策を打ち出すべきでは。

**石松まちづくり課長** 企業誘致に関しては、自然公園法等の規制もあり、景観、環境などにも十分な配慮が必要と考えています。

**菊池** 市からTSMCまで車で約30分と通勤圏内だが、若者達が給与等の高い働く場を求め、市からの移住・移転も考えられる。人口減少に

課題を抱える市として、移住・定住に向けた住宅やスーパーマーケット等の誘致、子育て支援策は。

**まちづくり課長** 移住定住については、宅地の開発・分譲に向け、不動産会社へ積極的に情報を発信していきます。商業施設誘致は、北側復旧ルート完成によるアクセスの良さをアピールしていきます。

**松岡福祉課長** 子育て支援については、市独自事業として18歳まで医療費無償化のほか、令和5年度から保育園で英語と触れ合う授業を実施予定です。

他に「TSMCと結ぶシャトルバス運行について」、「企業誘致等の際の丁寧な住民説明等について」の質問がありました。



北側復旧ルート（車帰IC付近）

# 「ふるさと納税」今後の取り組みは



市原 正

**市原** 令和4年度阿蘇市に納税されるふるさと応援寄附金（ふるさと納税）は、予算上約3億円、委託料50%、一般会計への純収入は、1億5000万円と記憶しているが、現状は。

**石松まちづくり課長** ふるさと納税の令和4年度の収入は、現在のところ3億円の予算に対して2億1000万円程度の状況になっております。

**市原** 近隣の高森町は約30億円、南小国町では約10億円の寄附額と聞いており、阿蘇市とあまりに開きがある。所管のまちづくり課の今後の取り組みは。

**まちづくり課長** この状況は把握しており、今後、改善すべきところは改善し、寄附額の増加に向けて取り組みを進めます。

**市原** 令和5年度の当初予算では収入額は4億円になっているが、それ以上の10億でも3億でも集まるアイデアについて、所管だけではなく部課長会議などで出せるような方向

性を求めておきます。

私は、自治体の財政運営に自主財源の確保は非常に重要なことと考えています。高森町は約30億円の収入のうち、経費に半分、約15億円が一般会計の純収入となっているが、このような財源があった場合、阿蘇市の財政はどうか。

**廣瀬企画財政課長** ふるさと応援寄附金につきましては本市にとりましても貴重な財源となっています。所管課と連携し、取り組みを進めるべきと考えます。

**市原** 15億円あったら楽になりますか。

**企画財政課長** 寄附金が増えれば、市の財政面でもやりたい事業がしっかりとやれるものと考えます。



ふるさと納税返礼品の一例

# 合併協定書にうたわれた文化ホールの建設は



五嶋 義行

**五嶋** 合併協定書は平成16年3月26日に調印されているが、その効力は。

**廣瀬企画財政課長** 合併協議会で決定・作成される市町村建設計画は、法的拘束力はないものの、これらを尊重するよう努めなければならないと解されています。

**五嶋** 地方自治法第252条の5に「関係普通地方公共団体の長その他の執行機関が管理し及び執行したものととしての効力を有する」あるが、

**企画財政課長** 履行するよう努めなければならないと解釈しています。

**五嶋** 協定書の効力は有るとのことだが、合併時の本庁舎を一の宮地区にもって行くことの代替ともとられるような文化ホールが、内牧にできなかつたことについては。

**佐藤市長** 文化ホールを造るべしと合併協定書にうたわれておりましたが、私が市政を預かる時点において、当時の検討委員会から「毎年の維持費が相当かかる」という結論が出され一旦閉じた格好になっていま

す。しかし当時合併時において論議されたことでもありますので、これを全くなきものにしてしまうということは先達の人たちに大変失礼であると考えています。

**五嶋** 人口減少率の度合も3町村の中で旧阿蘇町が一番高い。人が集まるような施設ができないか。

**市長** その思いについては私達も共通するところであります。もう一度活力のある地域にしていきたいと山ほどの気持を持っています。

他に「旧ひのくに会館及び周辺整備について」、「行政区区について」、「遊休農地の現状は」の質問がありました。



旧ひのくに会館 (内牧)

# 大切な子ども達の明るい未来を守るためには



園田 浩文

**園田** 令和4年度の小学生児童数1160名、中学校生徒数565名の携帯電話・スマホの保有率は。

**藤井教育課長** 小学生42%、中学生79%となります。

**園田** 不登校となっている子ども達への対応は。

**坂梨教育長** 別の教室で支援員の先生方や個別に対応頂ける先生方でご指導頂いています。又、旧中通小に教育支援センターを設置し、不登校の子ども達が通っております。先日の中学校での卒業式には全員が登校でき、少しずつ学校に復帰できる状況になっていきます。

**園田** 土・日・祭日の中学校部活動改革案についての、今後3年間の進め方は。

**教育課長** 昨年10月に検討委員会を設置し、関係団体との審議を行っています。課題も多く、特に人材の確保が一番の課題であることから、先生方の兼職兼業の整理、人材バンクの活用等が必要であると考えています。本年4月以降に、小・中学生

の保護者、中学校の先生方へのアンケート調査を踏まえ、指導者確保を継続的に進めます。

## 阿蘇の基幹産業の飛躍を目指して

**園田** 農林畜産業従事者の高齢化に伴う担い手の減少と、飼料・肥料・機械等の物価高騰で一次産業の衰退が問題となっている中、新規就農を目指す新たな担い手もいる。

新規就農者一人当たり150万円の補助を行っているが、その検証は。  
**佐伯農政課長** 新規就農者からの就農報告を踏まえ、関係機関等によるサポート活動や中間評価の実施を行い、補助事業としての効果検証を行っています。



教育支援センター「ほっとスクールASO」  
(旧中通小学校)

# 移住定住に向けた取り組みは



児玉 正孝

**児玉** 若者の働く場を確保するためには、雇用機会の環境を作る事が必要である。阿蘇市における工業団地の使用状況は。

**石松まちづくり課長** 赤水の宮山地区にある2.3haは全て使用。一の宮町の南油町地区は23haあり、現在12haが使用されています。

**児玉** 工場進出の問い合わせはあっているのか。

**まちづくり課長** 数件の問い合わせがあつていきます。20ha規模の話もありましたが、自然公園法や農振法の関係、排水の問題などの課題もあります。

**児玉** 工業団地区域拡大の計画はあるのか。

**藤田経済部長** 阿蘇といえば雄大な自然。企業誘致を進める場合、経済振興と自然環境保全の両立が不可欠です。工業団地拡大については、進出企業のニーズを冷静に見極め、慎重に判断したいと思えます。

**児玉** 少子高齢化により地域人口が減少する中で赤水の人口は横ばい

であり、阿蘇西小学校の生徒数は他校と比べて増加傾向である。阿蘇西インター近くに山林と農地があるが、農振法での位置づけは。

**徳永農業委員会事務局長** 宮山地区の農地に関しましては農業振興地域以外の土地になります。

**児玉** 農振地域外であるならば住宅地造成する場合、どのような規制があるか。

**加藤住環境課長** 開発行為を行うには、市景観条例に基づく届出、都市計画法に基づく県知事への許可申請、文化財保護法による埋蔵文化財の確認調査などがあります。

他に「防災・減災対策について」、「旧ひのくに会館の今後の計画について」の質問がありました。



阿蘇西 IC 付近の農地

# 「イコカー」実証実験期間の延長は



佐藤 和宏

**佐藤** 阿蘇市コミュニティ交通「イコカー」実証実験が6箇月間延長となるが、利用者がより使いやすくなる対策はあるか。

**廣瀬企画財政課長** 昨年10月から山田地区で半年間の実証実験を行いました。現在、登録者数35名、利用者数延べ30名、月平均が6名程度の利用状況となっております。今回さらに9月30日まで期間を延長し、運行時間や予約方法などを改善しながら、利便性の向上を図ることにしています。

**佐藤** 利用者からは帰りの予約が難しいとの意見がある。そのような課題に対して、移動中でも利用者と連絡が可能となる無線機やBluetooth等々の導入の検討は。

**企画財政課長** 4月から当日予約も可能とすることから、帰りの便が利用しやすくなると考えます。なおドライバーとの連絡手段についても検討を進めたいと考えます。

**佐藤** 高齢者の免許証返納や運転控えが多くなっている状況を踏まえ、多くの方に「イコカー」を利用して

もらうための取り組みは。

**企画財政課長** 利用者増加対策としては、チラシ配布やアンケート調査などにより周知徹底に努めてきました。今後は現在利用されている方などから情報発信の協力をいただき、ドアツードアの利便性をPRしていくことで、「イコカー」利用促進を図っていきます。

他に「新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策の緩和について」の質問がありました。

① 「Bluetooth」とは、スマートフォンと車のナビゲーションなどの機器を繋ぐ通信技術のことです。

② 「ドアツードア」とは、自宅まで送迎することです。



山田地区で運行中の「イコカー」

# 阿蘇市の子育て支援環境の充実を



竹原 真理子

**竹原** 今後の出生率などを踏まえ必要とされる保育施設や保育士は足りているか。

**松岡福祉課長** 出生率の低下は全国的な傾向で、本市も著しく低下しており保育士や施設数は現時点で充足しています。

**竹原** 先日報道であった認定こども園について、その後の対応は。

**福祉課長** 県からは保育事業業に対し配置人員が示され、市からは園児の安全確保や健全な労働環境の確保ができるよう伝えており、現在、事業者でその準備が進められています。

**竹原** 保育園には子供用のお昼寝ベッドがあると聞いている。その概要と効果は。

**福祉課長** 昨年から感染症対策の一環として、コロナ臨時交付金を財源に、民間を含めた阿蘇市全園児に午睡ベッドを導入しました。保育士からは園児の睡眠の質が向上し、保護者からは週末の布団の持ち帰りの負担が軽減したとの声を頂いています。



「午睡ベッド」で眠る園児

畜産農家が安定した収入を得るための支援策について

**竹原** 畜産農家は、飼料価格高騰や市場価格の下落で、大変な経営難に陥り廃業せざるを得ない農家もいる。市独自の支援策は。

**佐伯農政課長** 全畜種を対象に、飼料価格高騰緊急対策支援事業を進めているところです。市場価格の動向を十分注視し、国や県等も含めた関係機関と連携しながら新たな対策等を考えていきます。

# 有害鳥獣の被害状況は



大倉 幸也

**大倉** 近年、有害鳥獣による農作物等へ甚大な被害を受けているがその状況は。

**佐伯農政課長** 猪、鹿等による農作物被害、また農地の畦畔等も損傷が見受けられます。農業共済組合の共済対象作物における被害額は、令和3年度で約150万円、令和元年度では330万円です。また、農地の被害面積は令和3年度で10haとなっています。

**大倉** 特に猪の被害が深刻である。畦畔・水路の土手が農地を重機で掘り返したような状態となっており、人の手では復旧が困難な状態にある。これから梅雨の大雨により土砂崩れなどの被害も想定される。復旧工事や駆除隊を増やすなど早目の対策が必要と思う。また、ジビエ加工施設などを併せて考えてはどうか。

**農政課長** 市の有害鳥獣捕獲協議会は、現在、隊員数105名で編成しております。4年度の捕獲状況ですが、猪で1138頭、鹿で866頭、アナグマで78頭、カラスで75羽



イノシシによる被害状況

となつています。1人で100頭以上捕獲された隊員の方も5名おられます。現在の対策支援事業としては、狩猟免許取得、電気牧柵、ワイヤーフェンス導入への補助を行っています。ジビエの加工施設については、衛生面での問題もあり、なかなか全国的にも進んでいない状況です。農地の復旧は中山間活性化推進事業を効果的に利用していただき、早急な復旧に努めてまいりたいと思います。

他に「若者の移住定住政策について」、「阿蘇山上のみに頼らない観光地づくりを」についての質問がありました。

# 新型コロナウイルス感染症の位置付け変更による影響は



杉谷 保信

**杉谷** 新型コロナウイルス感染症の位置づけの見直しで何がどう変わるのか。

**山中健康増進課長** 感染者への入院勧告や感染者と濃厚接触者の外出制限、感染者の人数把握は無くなり

ます。また、緊急事態宣言等による行動制限、飲食店に対する営業時間短縮などの要請も無くなります。次に医療提供体制については幅広い医療機関が対応する体制へと段階的に移行するということとされております。また医療費は他の疾病との公平性の観点から公費負担は縮小となりますが、急激な負担増が生じないよう、外来・入院ともに公的支援は期限を区切り継続となります。

マスク着用につきましては、3月13日から個人の判断が基本となりますが、医療機関等の一部の機関では、マスクの着用が推奨されています。

**性の多様性を認め合い理解しあう社会の醸成について**

**杉谷** 性の多様性を認め合い理解しあう社会の醸成については。

**市原人権啓発課長** 阿蘇市では、

LGBTQ（性的少数者）のカップル関係を公的に証明するパートナーシップ宣誓制度を4月1日から導入します。今後、制度の啓発を行いながら、市営住宅の入居や、医療センターでの患者家族への各種同意などの公的サービスの実施と合わせ、民間でのサービス拡充につなげていきたいと考えています。

他に「市営住宅のバリアフリー住宅について」、「一の宮運動公園の遊具の設置完了と供用開始について」の質問がありました。



新型コロナワクチン接種対策班

# 波野グラウンドのトイレや管理棟の改修は



佐藤 菊男

**佐藤** 老朽化した波野総合グラウンドのトイレ等の改修要望への対応は。

**藤井教育課長** 昨年度、トイレの清掃や管理棟改修の要望があり、トイレの定期的な清掃や照明器具の修理は実施していますが、全体的な管理棟の改修には至っていません。

**佐藤** トイレの老朽化がグラウンド使用の妨げになっている部分があるが、今後の改修計画は。

**教育課長** 施設整備から45年が過ぎ、劣化が進み腐食や雨漏り等もあります。利用状況を踏まえ今後総合的に検討していきます。

**坂梨教育長** 幼児から高齢者、そして障がいのある方も安心して利用できる公的なスポーツ施設等の整備は非常に重要と考えています。

**廣瀬企画財政課長** 劣化度・緊急性・費用対効果等を十分見極め、優先順位をつけ予算措置の判断をしていきます。

**中学校制服の変更について**

**佐藤** 一の宮中学校生徒徒において



波野総合グラウンド管理棟

制服変更を望む声がある。しかし、保護者の負担増から強く要望できない状況があるが、教育委員会から助成等の負担軽減策は。

また、性別に関係なくジェンダーフリーの制服を選択できる「制服選択制」の考え方は。

**教育長** 制服が変わる場合の経済的な面からの助成、負担軽減等については、現時点では考えていません。熊本県内でも男女関係なく、多様性を尊重し自分で選べる制服選択制が増えています。制服変更は子どもたちの思いをしつかり受け止めながら、じっくりと時間をかけて生徒総会の決定や、保護者の方々の理解を得ることが大切だと考えています。

# 学校給食の無償化と就学援助金の拡充を



竹原 祐一

**竹原** 阿蘇市における就学援助金制度の支給内容は、

**藤井教育課長** 就学援助金制度は、市町村民税が非課税であるなど、認定基準に該当した場合に支給される制度です。就学助成金の内容は、新入生の学用品費で、小学生4万6000円、中学生4万7000円です。在学生の学用品費は、小学生1万5000円、中学生2万7310円です。学校給食費は、小学生3万9000円、中学生4万5000円となっています。修学旅行費は、小学生・中学生ともに実費を支給します。

**竹原** 就学援助金制度は、申請主義のため申請をためらっている方もおられ、現在の物価高騰の中、低所得者・ひとり親家庭などの支援を考えると、食育も踏まえ、学校給食無償化が必要では。

**教育課長** 学校給食は、年間約9000万円の食材費が必要となっています。現時点での無償化は難しいと考えます。

**竹原** 例えば、現在の生活保護基

準1.1倍を1.2倍にし、給食無償化の児童・生徒を増やしていくということはないか。

**教育課長** 財政的な負担が増えますので、財政状況を見させて頂きます。

他に「阿蘇市外での18歳までの子ども医療費窓口の負担無料化」、「国税の18歳までの均等割無償化について」の質問がありました。



学校給食と配送車

## 傍聴してみませんか



阿蘇市議会 次回開催予定



定例会	会期日程	一般質問
令和5年 第4回 (6月)	5月29日(月) ～ 6月22日(木)	6月20日(火) 21日(水)

※正式な日程は、議会運営委員会で決定次第、お知らせ端末やホームページで改めてお知らせします。日程の変更や、新型コロナウイルス感染症の影響により傍聴を制限する場合があります。